2023年10月発行【Dr・CM配布用】　第47号　南草津病院 地域リハビリテーション課

地域リハビリテーション課からのお便り

地域リハビリテーション情報誌

みなリハ

体温を超す猛暑の日々、次々に発生する台風の襲来をやりすごし、やっと過ごしやすい季節になりましたね。十月は運動会や紅葉狩り、ハロウィンなど様々なイベントが盛りだくさんですね！
今や、滋賀県を代表するイベントとなった、イナズマロックフェスも盛大に行われるそうで、県外からもたくさんの来客が見込まれます。一杯のお客さんに楽しんでもらいたい一方で、まだまだ感染症の対策には油断ができない状況が続きますね。新型コロナの変異種や季節性インフルエンザの流行をはじめ、皆が感染予防に努めて各種イベントを心行くまで楽しんでもらいたいものですね。

10月17日（火） に オンラインで
ケアマネジャー様との合同勉強会（10回目）を開催予定です。
「訪問リハビリの卒業について座談会」というテーマで、PT川勝が現在卒業に向けてアプローチしている取り組み事例を紹介します。
今回は、ケアマネジャーの皆様にも自由に意見交換して頂く座談会形式にしています。
ご興味のある方は是気軽にご参加ください！

リハビリテーションに関わる気になるキーワード

新聞やネットニュース・SNS上で「ん？これは何？気になる～。」となったキーワードをいくつかご紹介します！

2023年12月1日から
『白ナンバー事業者のアルコール検知器などでのチェック義務化』

当院でも本年4月1日以降、運転者に対し運転前後の酒気帯びの有無を目視確認＆記録を実施中です。
12月からは更に検知器の使用が義務付けられます。

リハビリテーション関連の動向は？
『2024医療・介護報酬同時改定について』

＜課題となっているポイント＞
○訪問看護からのリハビリと訪問リハビリの役割分担を明確化していく。
○医療機関を退院後、介護保険の訪問リハビリが開始されるまでの期間では、
「2週間以上」が32%、「4週間以上かかる」が約24%となっており、
退院後、早期に利用開始になるほど機能回復が大きい傾向有り。
○利用者のリハビリテーション・口腔ケア・栄養管理の一体的な運用が、
自立支援や重症化防止の効果を高める上で重要であり、
多職種連携の強化を実現する体制を整備していく。
…10月以降に具体的な方策が示される模様です　　（7/23、9/15の社保審・介護給付費分科会より）

診察の際、
「最近、足腰が弱ってきたなぁ・・・」
と感じる患者様はおられませんか？

モニタリング訪問の際、
「いつまで歩けるかなぁ・・・」
と心配な利用者様はおられませんか？

【訪問リハビリの提供可能な範囲】
◎草津市全域　◎栗東市全域　○大津市の一部
（石山、南郷、田上、上田上、青山、瀬田、瀬田北、瀬田東の各小学校区）
【サービス提供日時】
月曜日～土曜日（日曜・祝祭日・年末年始除く） AMの部　9:00～12:00　PMの部 13:00～17:00
まずはご相談ください！8:30から受け付けております！

その不安や困りごと、訪問リハビリにご相談ください！

電話 (077)562-2239(直通) FAX (077)562-2253(直通)　　訪問リハビリ管理者　上野まで！

みなリハ

医療法人芙蓉会　南草津病院
地域リハビリテーション情報誌
第47号　発行月　2023年10月

10月に入り、ようやく暑さも落ち着いてきたように感じます。今年の夏は例年よりも暑さが厳しかったですね。35℃以上の猛暑日も多く、外に出るのは危険な暑さだったので「外出機会が減ってしまった」「体力が落ちてしまったような気がする・・・」という声を多くの利用者様からお聞きました。
これから朝・晩と日中の気温差が激しくなり冬に向かう季節となります。
体調管理を行い寒さに負けない体つくりをしていきましょう。

高齢者が秋に気を付けるべきポイント

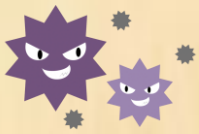
『肺の病気』

肺は冷たい空気や乾燥に弱い臓器と言われています。これからの季節どんどん空気が冷たくなり乾燥してきます。
また口呼吸すると口腔内や喉が乾燥し細菌などが直接侵入し粘膜に炎症を起こしてしまいがちです。
できるだけ鼻呼吸で冷たい空気や細菌から体を守りましょう。

『血圧に注意』

寒くなり始めると入浴時などに急激な寒暖差がでてきます。特に浴室・洗面室・トイレなどで起こりやすいと言われています。この寒暖差が血管や心臓に負担をかけてしまうため、それらが高齢者にとっては心筋梗塞や脳梗塞につながってしまいます。
暖房器具の使用や服装などで温度差がでないように注意しましょう。

『感染症に注意』



厳しい夏の暑さで食欲不振や運動不足となり、体力が落ちてしまっています。そのような状況で寒さが増してきます。インフルエンザやコロナウイルスは夏場・冬場関係なく流行してきていますが、空気が乾燥していると病原体は活動しやすい状態となります。
予防接種での対策、**手洗い・うがい**、**バランスのよい食事**などで体調を整えて病気に負けない体つくりをしていきましょう。

みなりハ通信

今回は、自己免疫性肝炎や間質性肺炎などの基礎疾患や脳梗塞等の既往があり、状態の悪化や転倒などにより一時歩行困難となるも、当院の様々な形態のリハビリを受けながら、生きがいである料理を続けておられるT様をご紹介させていただきます。

５年前
外来リハビリ

5年前から当院外来リハビリをご利用でした。基礎疾患により一時歩行困難となっていましたが、外来リハビリにより安定して歩行可能になっていました。

肺がんの手術

２年前
当院回復期リハビリ

2年前に肺がんが見つかり、肺の一部切除手術を受けられました。手術後の体力低下のためリハビリ目的で当院回復期病棟に入院。約1か月のリハビリの後、自宅退院されました。

浮腫 歩行困難

１年半前
訪問リハビリ

退院後しばらくはリハビリなしで生活されていましが、間質性肺炎によるステロイドの増量後下肢の浮腫強くなり、歩行困難となっていました。

そこで約1年半前より訪問リハビリを開始しています。浮腫も軽減し、料理や外出もできるようになりました。

転倒 肋骨骨折

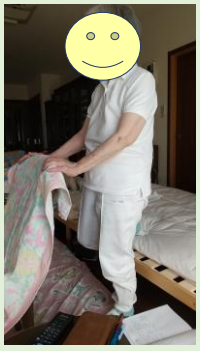
半年前
当院療養リハビリ

今年2月に台所で転倒され、左多発肋骨骨折により当院療養病棟入院。起居動作でも痛みが強く、トイレへの移動も困難でした。約1か月のリハビリにより起居動作安定し、3月末自宅退院されました。

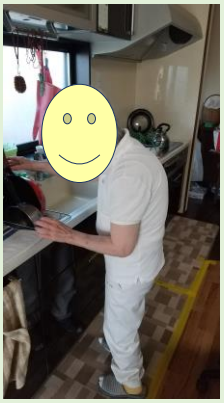
現在
訪問リハビリ

退院後から再び訪問リハビリを再開しています。

訪問リハビリでは既往の脳梗塞左麻痺による左足の弱さや体幹の強化を図っています。



生きがいである料理も休憩しながら2時間程できるようになっておられます。



手術や転倒による骨折、ステロイドの影響等により何度も起居動作や歩行が困難となるも、その都度意欲的にリハビリに取り組まれて、料理や買い物を続けておられます。
当院では回復期・療養・外来・訪問のスタッフが連携を図りながら、患者様・利用者様の生活の支援をさせていただきます。

【“くらしと生きがいを再建！”　あなたに寄り添うリハビリチーム】
医療法人芙蓉会　南草津病院　地域リハビリテーション課
〒525－0059　滋賀県草津市野路五丁目2番39号
TEL：077－562－2239　FAX：077－562－2253